

近藤芳介 おんよし 國學者、歌人。文政五年一月二十三日周防國生れ、  
 明治二十一年十一月二十八日没（八三一九）。舊姓佐甲、國學者近藤  
 芳樹の養嗣子。初名久要、久棟、通稱嶽之助、甲一郎。號靜居。足代  
 弘訓、芳樹に就き、史學、文學を修む。山口師範館助教、明治六年  
 大教院皇學教師等を務める。

歿後諸家による追悼歌集『雪の白ゆふ』（明治二十二年七月八日京都  
 ・山本彦兵衛編刊）があり、その歌作は『靜居遺稿』全二冊（大正七  
 年十一月二十八日近藤久敬編刊）に纏められた。

